

<ご参考： Olympus Corporation of the Americas（OCA）ニュースリリース抄訳>

（現地時間：2024年9月5日）

**オリンパスグループ、初のクラウド型 AI 内視鏡画像診断支援システムが
米国 FDA の認可を取得**

[オリンパス株式会社](#)（以下、オリンパス）は、オリンパスグループの [Odin Vision 社](#)（オディン・ビジョン社、本社：英国ロンドン）が開発した、大腸内視鏡検査において病変の疑いがある部位を検出し、医師のサポートをする内視鏡画像のコンピューター支援検出（CADE）システム「CADDIE（キャディー）」が、米国食品医薬品局（FDA）より 510(k)認可を取得したことを発表します。

Odin Vision 社はオリンパスが 2022 年に買収を発表したスタートアップ企業で、内視鏡画像診断に関する革新的なクラウドベースの AI 技術を保有しています。このクラウド型 AI 技術をいかし、「CADDIE」が開発され、医師が質の高い患者ケアを提供できるようサポートします。またクラウド技術により、遠隔から AI のソフトウェアをアップデートできることも特徴です。オリンパスグループにとって、「CADDIE」が初めてのクラウドベースの大腸内視鏡検査に対する CADe 製品となります。

大腸内視鏡検査の精度や効率性を高めることは、オリンパスが取り組む医療用内視鏡の新たなソリューション「インテリジェント内視鏡医療エコシステム」でめざす目標の一つです。今回の認可取得により、「インテリジェント内視鏡医療エコシステム」の実現に向けた取り組みを引き続き進めてまいります。

「CADDIE」は、大腸内視鏡検査の映像をリアルタイムで解析し、病変の可能性が疑われる部分を医師に知らせます。医師はその部分を確認し、医学的判断に基づき、病変であるかの診断を行います。なお、「CADDIE」は、医師が患者に対して行う診断行為を置き換えることを目的としていません。また、内視鏡検査の一次的解釈、医学的診断、治療計画の根拠とすることを意図したものではありません。

「CADDIE」は、日本国内では医薬品医療機器等法未承認の製品です。

OCA が 2024 年 9 月 5 日（米国時間）に発表した[英文プレスリリース](#)をご参照ください。

オリンパスについて

オリンパスは「私たちの存在意義」として掲げる、世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現を目指しています。世界をリードするメドテックカンパニーとして、私たちは医療従事者の方々と共に、病変の早期発見、診断、そして低侵襲治療に役立つ最適なソリューション・サービスの提供を通じて対象疾患における医療水準の向上に貢献してまいります。創業から100余年、オリンパスはこれからも世界中のお客様に最適な価値をもたらす製品を提供することで、社会への

貢献を目指します。詳しくはオリンパスの公式サイト (www.olympus.co.jp) ならびにX ([@Olympus_Corp_JP](https://twitter.com/Olympus_Corp_JP))
をご覧ください。



< 本件に関するお問い合わせ先 >

- 報道関係の方：オリンパス株式会社 コミュニケーションズ

田中 TEL：070-1063-1521 / 湯浅 TEL:070-3923-6064

メールアドレス：Global-Public_Relations@olympus.com

- ホームページ：<http://www.olympus.co.jp>